

どがどが 大田市です!!

大田市ふるさと情報誌
最終号

VOL.55
2025.3

長年ご愛読いただきありがとうございました

ふるさと情報誌「どがどが大田市です!!」は、本号をもちまして終刊いたします。大田市出身者の方はもちろんのこと、様々なかたちで大田市と関わっていただいている皆さまへ大田市の情報をお届けして参りました。

長きにわたりご愛読いただきました読者の皆さま、取材にご協力いただいた関係先の皆さまに心より感謝申し上げます。

今後は、誰もが簡単にリアルタイムで情報を得ることができるSNS等を活用し、大田市公式ホームページをはじめ、定住PRサイト「どがどが」や「大田市公式LINE」などで“おおだの今”を積極的に情報発信して参ります。

皆さまがふるさと大田にお帰りの際にお目にかかれることを念願し、終刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

下記二次元コードから大田市の情報をご覧いただけます。



大田市公式
ホームページ



どがどが
定住PRサイト
どがどが



大田市公式
LINE



大田市公式
Instagram



写真：長久さくらフォトコンテスト受賞作品

大田市25歳同窓会を開催しました！

昨年12月29日に、島根中央信用金庫大田営業部（大田町）で「大田市25歳同窓会」を開催しました。当日



は25歳を迎える、大田市にゆかりのある方53名が参加しました。

このイベントは、大田市の若年層の人口が減少する中で、同窓会を楽しみながら、ふるさととの関わり方などを考えるきっかけを作り、将来的なUターンに繋げることをねらいとして、25歳同窓会実行委員会と大田市によって企画しました。

開催にあたり、県内に在住する25歳の有志による実行委員会を昨年6月に立ち上げ、同級生への声かけや当日の企画を練るなど、約半年間にわたり準備をしてきました。今田圭実行委員長は、「企画する側も楽しんでできればと思います。メンバーと話し合って準備してきました。今後大田を盛り上げたい」と語りました。乾杯の後、参加者は懐かしい顔を見つけて写真を撮るなど、旧友との再会を楽しみました。

当日は、大屋神楽社中による石見神楽の演舞や、大田市の懐かしい人・場所などをテーマにした大田ビンゴゲームを実施しました。ゲームでは、白銀牌ビールやアナゴの茶漬けなど、大田市の特産品が準備され、盛り上がりを見せました。

大田市での仕事探しや移住に役立つ支援制度情報などを参加者に提供し、Uターンの促進を図りました。



交流の様子



石見神楽演舞



代表あいさつをおこなう
山根菜聖さん(左)と神宮寺龍輝さん(右)

大田市民会館で1月4日、「令和7年大田市二十歳のつどい」を開催し、対象者（295名）のうち210名が出席しました。

今年度より、式典の進行を二十歳を迎えた笠松瑞生さん、小島咲さんのお二人に、参加者を代表して務めていただきました。

式典に先立ち、オープニングアトラクションとして、島根県立遼摩高等学校石見神楽部による石見神楽「頼政」が披露されました。当日は、今年度二十歳を迎えた遼摩高校石見神楽部OBも共に出演し、煌びやかな衣装と迫力のある舞で式典



市長から記念品を受け取る山本太希さん

に花を添えました。

式典では、山本太希さんが参加者を代表して、市長より記念品（石見銀山WA ONカード）を受け取りました。

また、式典の最後には、神宮寺龍輝さんと山根菜聖さんの二名が代表あいさつを行い、神宮寺さんは「地元を愛し、地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、社会の一員として貢献したい」と述べ、山根さんは「若者にとって大田市で頑張りたい、一度外へ出て戻ってきたいと思える場所にしたい」と決意を語りました。

令和7年 大田市二十歳のつどい

「新・農業人フェア2024(大阪)」 にブース出展!

大田市では、「大田市農業担い手支援センター」を設置し、市内農業の担い手の確保・育成に向けた支援を行っています。新規就農者の確保に向けた取り組みの一つとして、東京・大阪で開催される「新・農業人フェア」に参加しています。

このイベントは、200を超える出展団体がある国内最大級の就農相談会となっており、農業初心者から独立就農検討者、転職希望者など、幅広い層が来場されています。

令和6年10月27日に開催された大阪会場には大田市もブースを出展し、市内農業生産額の8割を占める畜産や市として重点的に推進している有機農業など、相談者のニーズに応じた就農方法や移住・定住支援、大田市の魅力などをお伝えすることができました。今後もこのようなイベントに参加する予定としておりますので、ご来場される機会がありましたらぜひ、大田市ブースにお気軽にお立ち寄りください。

大田市農業担い手支援センターでは、就農相談を随時受け付けています。「大田に移住したい」「農業に興味がある」という方、大田で農業をしてみませんか?

お問い合わせ先

大田市農業担い手支援センター
☎0854-83-8091

就農については
こちらから



しまね移住ポータルサイト くらしまねっと



働くなら
おおだ!

お仕事探しは、しまね移住ポータルサイト「くらしまねっと」をご利用ください。「しまね登録」に登録していただくと、以下のサービスを受けることができます。

- 企業からのスカウトサービスが利用できる
- 希望条件に合った求人をおすすめ
- 無料職業紹介担当スタッフが就職活動をサポート
- お気に入りの求人をマイリストにストックできる
- 気になる企業があれば「つながる」ボタンでアプローチ

そのほか、移住に役立つ情報を掲載しています。詳しくは「くらしまねっと」をご覧ください。

「くらしまねっと」は
こちらから



しまね登録は
こちらから



公益財団法人ふるさと島根定住財団
TEL:0852-28-0690



ジョブサーチおおだ

大田市内の企業や働く人の
情報を紹介中

「ジョブサーチおおだ」では、大田市の魅力的な企業情報を中心に、そこで働く“人”にもフォーカスを当てて紹介しています。高校生や大学生など若い人たちに大田で働くイメージを提供するサイトです。



シリーズ石見銀山⁵⁵

台湾との絆を深める ～連携協定を締結～

世界遺産登録20周年に向けて海外との交流を進めている石見銀山。その一つに台湾があります。

1895年、日清戦争の下関条約により台湾は日本に割譲され、翌年10月、藤田伝三郎による藤田組が瑞芳鉱山、田中長兵衛による田中組が金瓜石鉱山を開発しました。

瑞芳の鉱山事務所長は大森鉱山の所長が兼務するなど、台湾の鉱山開発に大森出身者も関わりました。その後、金瓜石は東アジア最大の金山として栄え、瑞芳鉱山は現在、鉱山町の九份が台湾の一大観光地として賑わい、金瓜石とともに、全部で18件ある台湾における世界遺産登録候補地の一つとなっています。

2007年に石見銀山が鉱山としてアジアで初めての世界遺産になったことから、台湾新北市立黄金博物館館長らが2008年に大田市を訪問して石見銀山を視察。そこから交流が始まり、2010年には黄金博物館で石見銀山の特別展がおこなわれました。

2012年には石見銀山世界遺産登録5周年事業として、国際シンポ

ジウム「石見銀山と台湾の鉱山」を大田市で開催。2013、2015年には、島根県教育委員会と台湾新北市立黄金博物館が連携し、専門家の協力のもと台湾の鉱山遺跡調査を実施。調査成果は世界遺産登録10周年であった2017年に報告書として刊行されました。

こうした石見銀山との友好と連携の関係をさらに深めるため、黄金博物館は、同館の開館20周年となった2024年に石見銀山世界遺産センターとの連携協定を結びたいと打診がありました。

大田市としてこれを受け入れることとし、同年11月4日、武田教育長を代表として関係者が訪台して協定が締結されました。2025年には、大田市でも締結式が行われる予定です。

今後は歴史や価値を相互で情報発信するなど、一層の連携を図ることが期待されています。

● お問い合わせ先

大田市教育委員会 石見銀山課
電話 0854(83)8132

大田市は、ユネスコの「平和と人権尊重」の精神に基づき、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の保全と活用をすすめています。

長きにわたり「シリーズ石見銀山」をご愛読いただきましてありがとうございました。

2005年の創刊から毎号欠かさず石見銀山に関する情報をお届けしてまいりました。この20年間には、世界遺産の登録実現に向けた心熱い応援メッセージ、石見銀山基金へのご厚志、そして価値や魅力の発信へのご助力等々、数多のお力添えを頂戴してまいりました。あらためて深く感謝申し上げます。

2027年には世界遺産登録20周年・発見500年を迎えます。この節目を契機として、魅力的で持続的な石見銀山となるよう一層注力してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

右記Webサイトを通じて、情報発信をしていますのでぜひご覧ください。

世界遺産センター
ホームページ



ふるさと情報誌
バックナンバーはこちらから



台湾新北市立黄金博物館と協定締結

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行/大田市役所政策企画部まちづくり定住課 ☎:0854-83-8172 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-tiiki@city.oda.lg.jp